

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和3年10月25日
住 所 さいたま市南区南浦和3-17-5
県内企業等の名称 埼玉中央生コン協同組合
代表者役職 氏名 理事長 堀川 和夫

埼玉中央生コン協同組合 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

50年を超える活動を通じて、適正な価格で安全・安心な高品質の生コンを安定的に供給し続けることを中心に活動している。大規模災害から国民の安心と安全を守る施設、働きやすく、住みやすく、生活が豊かになる建築物や構築物の建設に必要な生コンクリートを供給することで社会貢献している。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ目標であり、組合員皆で誠実に事業活動に取り組むことで、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	産業廃棄物の削減に努める <現状(2020年)の数値> 持帰りコンクリート発生量19,000m ³ ※持帰りコンクリートとは、出荷した生コンが現場で使われず工場に持帰り、産業廃棄物になるコンクリートです。	<2030年に向けた指標> 持帰りコンクリート発生量17,000m ³ (10%減) <取組開始3年後に向けた指標> 持帰りコンクリート発生量18,000m ³ (5%減)
社会	県内で社会貢献活動を行っている団体への寄付 <現状(2020年)の数値> 寄付額:0円	<2030年に向けた指標> 寄付額:1,100,000円 <取組開始3年後に向けた指標> 寄付額:1,000,000円
経済	環境にやさしいコンクリート舗装の推進により社会問題の解決に推進する <現状(2020年)の数値> LCCの削減、燃費向上、CO2削減に繋がるコンクリート舗装の啓蒙活動による出荷増 2020年:352m ³	<2030年に向けた指標> コンクリート舗装出荷量 390m ³ <取組開始3年後に向けた指標> コンクリート舗装出荷量 370m ³

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。